



日経仕事ゼミ 主宰挨拶

広告



多摩大学大学院教授
シンクタンク・ソフィアバンク代表
日経仕事ゼミ主宰

田坂 広志

※ ※ ※

いま、世界全体が経済危機に直面し、我が国においても不況が広がっている時代。この時代に、これから実社会へ出ようとする皆さんは、あたかも嵐の海に船出するように、心に大きな不安を抱いているでしょう。

しかし、この実社会という海原を、いまも航海し続ける一人の人間として、皆さんに、心を込めて申し上げます。

激動の時代こそ、成長する絶好機。

そのことを、申し上げます。

激動の時代こそ、成長する絶好機

なぜなら、これからの時代は、単なる経済危機や不況の時代ではなく、この危機を通じて、従来の古い資本主義のパラダイムが壊れ、新たな資本主義へと進化していく時代。それゆえ、これからの時代には、企業も市場も社会も大きく変わり、我々一人ひとりのビジネスパーソンも、変化し、成長し、進化していかなければならないからです。

されば、これからの時代は、様々な苦労や困難を糧として、誰もが大きく成長できる時代。

そのことを、心を込めて申し上げます。

では、その成長を遂げていくために、我々に、何が求められるのか。

「志」を抱くことです。

この危機を好機に転じ、自分が働く職場を、企業を、市場を、そして社会を、どう変えていくのか。その志を抱いていただきたい。いま、世の中に溢れる、「生き残り」や「サバイバル」という寂しい言葉に流されることなく、自身の職業に誇りと使命感を持ち、こうした逆境にこそ、明確な志を抱いていただきたい。

もし、その志を抱いて、この航海に出るならば、皆さんの旅は、かならず素晴らしい旅になります。どのような嵐も荒波も、すべてを成長の糧としながら、遙かな目的地をめざす。そうした素晴らしい旅になります。

いまも、その航海を続ける一人の仲間として、互いにその目的地で会えることを、心より願っています。

